

令和3年度 第1回石狩市厚田区地域協議会 会議録

【日 時】 令和3年4月22日(木) 18:00~19:00

【場 所】 望来コミュニティセンターみなくる多目的ホール

【出席者】 13人(15人中)

役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠
会長	築田 敏彦	○	委員	加藤 亞弓	○	委員	角野 亮太	
副会長	渡邊 教円	○	委員	鎌田 憲一	○	委員	平賀 敏和	○
委員	相原 雄太		委員	小山 玲子	○	委員	丸山 真嗣典	○
委員	東 幸子	○	委員	今 光江	○	委員	森田 瞳	○
委員	大内 さつき	○	委員	笹谷 清一	○	委員	八木沼 英晃	○

※会長・副会長を除き、あいうえお順

厚 田 支 所 ~東支所長・吉田市民福祉課長・藤田生涯学習課長

地域おこし協力隊 ~飯塚隊員

事務局(地域振興課) ~高田課長・永塚主幹・佐藤主査・寺尾主査

【傍聴者】 2名

- 【次 第】
1. 開会
 2. 会長挨拶
 3. 令和3年度人事異動に伴う組織紹介
 4. 情報交換(リラックスタイム)
 5. 報告事項
 - ・令和3年度厚田区関連事業について
 - ・厚田区地域おこし協力隊の募集結果について
 - ・厚田区地域交通サービス検討委員会の検討状況について
 - ・市からの情報提供
 - ・その他
 6. その他
 7. 閉会

1. 開会

【 (厚) 地域振興課 高田課長 】

開会の前に、本日、相原委員、角野委員が欠席という連絡を受けているので報告する。

それでは、只今から第1回厚田区地域協議会を開催する。初めに築田会長から挨拶を申し上げる。

2. 会長挨拶

【 築田会長 】

皆さんこんばんは。だいぶ日も長くなり、農家の方も仕事が忙しくなり、この時間に集まるのは大変だと思うが、出席いただき感謝する。また、新型コロナが中々収束しない内に変異ウイルスが発生している状況になっている。会議も感染対策を図り開催しているが、なるべく早い時間で終了したい。それでは早速始めたい。

3. 令和3年度人事異動に伴う組織紹介

【 (厚) 東支所長 】

資料：厚田支所機構図参照

改めましてこんばんは。支所長の東でございます。私から厚田支所の今年度の組織を紹介させていただく。

資料1の厚田支所機構図をご覧ください。厚田支所の組織図と本庁直轄の組織に分けて記載している。名前の下に下線が引かれているものが異動した職員。

～以下、資料1厚田支所機構図に基づき説明

では、改めて4月より厚田支所に異動となった、吉田からご挨拶いただく。

【 (厚) 市民福祉課長 吉田 (※兼厚田生涯学習課長兼新型コロナウイルス感染症対策課長) 】

4月1日付で前任の新港管理組合から異動して参りました吉田でございます。どうぞ、よろしく申し上げます。

4. 情報交換 (リラックスタイム)

・厚田学園について～4月6日入学式。新たに4名が入学し全校児童生徒33名となった。児童がパッケージをデザインした道の駅の石狩二一さんの「厚田いなり」が販売開始された。新聞でも取り上げていただいた。厚田を愛する子どもの育成「厚田学」を充実させて子どもたちとともに厚田学園を盛り上げていきたい。今厚田学園として危惧しているのは、9年生の修学旅行。5月12日、13日、14日宮城県で予定し、仙台で厚田のPRを行う予定だが、旅行先の感染者数が増大しており、時期をずらすか、場所を変えるか検討しているところ。(丸山委員)

・朝市の情報について～4月10日、11日の土日から参加した。お客さんは来ているが、なかなか沢山買い物をしてくれない状況。国道231号が今通行止め(浜益方面)になっているため今は少ないが、開通されれば例年通り賑わって来るのではないか(平賀委員)

・農作業の状況について～稲の籾撒きが二日前に終わってほっと一息ついた。自分の家では今、秋小麦と野菜の準備をしている。今年は暖かくて良い。(東委員)

～個人的には籾撒きの真最中。またメロンを栽培しているので定植作業をしているところ。(八木沼委員)

5. 報告事項

令和3年度厚田区関連事業について

【 (厚) 地域振興課 佐藤主査 】

資料：令和3年度厚田区関連事業について

私の方から令和3年度の石狩市の予算の内、厚田区に関連する事業で主だったものについて説明する。この資料については、石狩市のHPで公表されている、令和3年度予算案の概要から、特に厚田区に関連した部分を抜粋したものになる。～以下資料に沿って説明。概要を記載。

① 子ども・子育て、教育環境の充実

～スクールバス購入事業を行う。現在聚富方面を運行しているスクールバスをマイクロバスからハイエースに更新する予定。予算 417 万円を計上。教育委員会の事業。

② 関係人口の創出

～厚田区デュアスロン事業。昨年実施する予定だったがコロナ禍で中止となり今年度初開催となるもの。道の駅周辺にコースを設定し、一般の部で自転車で 20 キロ、ランで 10 キロ、合計 30 km のコースと、初心者部で自転車 10 キロ、ラン 5 キロ、計 15 km を走る二つの部門の予定。コース設定など詳細はこれから。予算 155 万円を計上。スポーツ健康課の事業。

～地場企業等活性化プロジェクト事業。厚田区、浜益区において、首都圏の大学生をインターンとして受け入れ就労体験の中でいわゆる北部地区の課題を解決するためのプランを提案してもらい、地場産業の活性化に向けた取り組みを行うもの。6 名の学生を募集し、3 人ずつ 2 組に分け、8 月の一か月間、厚田、浜益交互に就労体験し、最終的にそれぞれのグループで課題等を見つけ、解決策等について成果発表をする。就労体験先には、道の駅や浜益の果樹園、厚田キャンプ場などが案とされている。5 月 21 日まで大学生を募集中ということで、インターンの学生が決まり、事業実施となれば、地域協議会でも情報提供させていただきたい。予算 210 万円を計上。商工労働観光課の事業。

～厚田区・浜益区地域おこし協力隊募集事業。首都圏等からの人材確保を図るため、移住交流フェア等のイベントに、地元の若者や、まちづくり団体のメンバーと一緒に参加し、地域の PR を行い、最終的には地域おこし協力隊の応募につなげることを目的とする。予算 100 万円を計上。企画課の事業。

③ 魅力あふれるまちづくり

～市内周遊促進事業。道の駅を核に市内の周遊促進を図るため PR 映像を制作し、道の駅や観光センターなどデジタルサイネージ設置施設で放映。また、なぞ解きをしながら石狩市内を周遊する取り組みや、道の駅 2 階に飲食店や観光名所のカードを設置し自由に手に取ってもらい周遊観光の促進につなげる。予算は 494 万円、商工労働観光課の事業。

～あいろーどパーク整備事業。道の駅の車両混雑の解消と事故防止のため、改めて区画線の整備及び誘導看板を設置。予算 198 万円を計上。商工労働観光課の事業。

～厚田区デュアスロン大会（再掲）

④ クリーン社会の推進

～エネルギー地産地消事業化モデル構築事業。地域協議会の中でも市担当者から説明いただいた事業であるが、今年は工作物の工事が始まる。太陽光パネルの設置や水素を活用した蓄電池の施設等を設置。蓄電施設の壁には厚田学園の子どもたちがデザインしたイラストが描かれる。事業の運用開始は令和 4 年度から。予算 3 億 68 万円を計上。企業連携推進室の事業。

⑤ 都市基盤の整備

～橋りょう長寿命化事業。市内 6 か所の内、厚田区内では発足三号橋と別狩橋の補修事業が行われる。予算は事業全体のもので 3 千 590 万円を計上。都市整備課の事業。

～上水道整備事業。継続して行われているもので、厚田区においては厚田区浄水場取水施設更新、厚田区の配水管の更新を行う。予算は全体のもので浄配水施設更新については2億2千480万円、管路更新については9千987万円をそれぞれ計上。水道施設課の事業。

⑥ 第1次産業の振興

～望来ダム整備事業（道営事業負担金）。継続事業で道の事業に対する負担金事業。予算2千813万円を計上。農政課の事業。

～幹線林道加賀の沢線改良事業。厚田区望来の本沢地区と正利冠地区を結ぶ林道の改良工事。予算は1千万円を計上。林業水産課の事業。

⑦ 厚田支所所管事業

～あつた水彩画展芸術文化振興事業。厚田アクアレール第5回水彩画展の展覧会開催にあたり、事業に対して地域振興基金を活用する。昨年度、コロナ禍により展覧会を延期したことにより、今年度にずれ込んだもの。実行委員会では、今年7月25日から8月8日の日程で展覧会を開催できるよう準備を進めている。予算75万円を計上。厚田支所地域振興課の事業。

⑧ 厚田区地域おこし協力隊活動事業。

～予算確保の段階で4名分1千880万円を計上。厚田支所地域振興課の事業。

⑨ その他

～橋梁架替事業。北海道が実施する厚田川の河川改修工事に伴い、開運橋（市道厚田別狩奥線）の架け替えを行う。予算1億8千620万円を計上。事業については4カ年事業。都市整備課の事業。

【 築田会長 】

今、説明あったが、予算について何か質問はないか。

【 鎌田委員 】

グリーン社会の推進ということで、エネルギー地産地消事業化モデル構築事業が予定されているが、具体的にどのような事業で、どのように進めていくのか教えていただきたい。

【 （厚）地域振興課 佐藤主査 】

この事業については、4カ年計画ということで、これまで3年間にわたり、有識者や地元の方も入って検討委員会で検討されて来た。ブラックアウトの際、地域が電源喪失しないよう、地域で必要とするエネルギーを地域で賄うという主旨。あくまでもモデル事業としての取り組みであり、電力供給も公共施設の一部に限られる。災害時は厚田学園が避難施設となるので、停電となった場合は1週間程度、厚田学園に蓄電施設から電力供給される。通常時は、太陽光パネルで常に電力を発生しているの、水素エネルギーの蓄電施設に電気を貯めておき、余剰となった電気は道の駅や厚田学園、消防、給食センターなどに供給する。各施設への供給可能電力は、通常施設が使用している電力の20%程度と聞いている。例えば、道の駅で通常使用分を100とした時、80は北電から、20は地産地消エネルギーから購入するというイメージ。その買い取り分を運用益にして、持続可能なものとして令和4年度以降、運営していくというもの。事業については企業連携推進室になるので、大まかな部分しか説明できないが、おおよそ内容については以上のとおり。

【 築田会長 】

他にないか。

【 鎌田委員 】

直接予算とは関係ないが、先ほど情報交換の際にも出たが、国道 231 号の通行止めについて、いつ頃までとか何か情報はなにか。

【 (厚) 地域振興課 佐藤主査 】

今のところ復旧までの見通しに対する詳しい情報は来ていない。早めに片側通行出来るような対策を今とっているところと聞いているので、当面は基本的に発足から青山を抜けて浜益に行っていたと、若しくはその逆パターンで浜益から厚田方面に来るとしかお伝え出来ないのでは、ご了解いただきたい。

厚田区地域おこし協力隊の募集結果について

【 (厚) 地域振興課 高田課長 】

厚田区地域おこし協力隊の募集結果について報告する。今回 1 名の募集に対し 1 名の応募があり、面接の結果、この方を厚田区地域おこし協力隊第 7 期生として採用を決定した。着任は現在居住する神奈川県の実家の整理などもあり、7 月 1 日となる。採用となった方は奥本さん 55 歳。経歴等、簡単にご紹介させていただく。

～以下経歴を紹介～

具体的目標設定はこれからだが、自らが厚田での生活を日々体験しながら、厚田の魅力・住みやすさ、時には住みにくさなども伝え、移住を勧める取り組みや、イベントなどを企画・実践し、これまでの国内外で得た自らの見聞を多くの子どもたちにも伝え広めて行きたいと抱負を語っているところ。6 月の回覧で地域の皆様にあらためて紹介をしたい。

【 築田会長 】

奥本さんという、新たな地域おこし協力隊が着任されることになった。7 月の地域協議会で挨拶いただけることと思うので、皆さんよろしく願います。

では、7 月から隊員 2 名ということになるが、今年度あと 2 名分の予算が確保されているが、今後の方向性をこれまで同様、検討委員会の中で議論していただきたいと思うが、委員の皆さんから意見を伺いたい。前回、検討委員会の委員長だった渡邊副会長の意見はどうか。

【 渡邊副会長 】

これまでも何度か検討委員会を行って募集を募って来たところであるが、近年、多くの自治体で募集しているからなのか、厚田の魅力を十分に周知出来ていないのか、募集の仕方が悪いのか、中々多くの募集につながらない。今回も 1 名だったということだが工夫が必要かなと思う。飯塚隊員もインターンシップ制度に参加したことがきっかけで厚田に興味をもつていただき協力隊に応募してくれたということもあるし、そういう制度の活用や、お試し協力隊など、新しい切り口で募集につなげる方法を考えていければと思うところ。

【 東委員 】

住む環境の整備などを、受け入れる側の体制も充実させないと、今の若い人は来ないのではないかと。

【 森田委員 】

たくさんの応募から選ぶというのも良いが、たくさんの募集の中から厚田を選んでいただいたという気持ちを尊重して、地域でその人を盛り上げていければ良いと思う。

【 築田会長 】

他に意見はないか。無ければこれまで出た意見を尊重して、再度検討委員会で協議していただきたいと思う。検討委員会の人選については、これまでどおり事務局一任でよろしいか。

【 全委員 】

全会一致で承認。

厚田区地域交通サービス検討委員会の検討状況について

【 (厚) 地域振興課 寺尾主査 】

資料：厚田区地域交通サービス検討委員会の検討状況について

26人で構成する地域交通サービス検討委員会については、令和元年12月立ち上げの際に説明しているが、これまでの検討状況と今後の取り組みの方向性を事務局からお伝えする。資料をご覧ください。

まず、1のこれまでの検討状況については、令和元年12月に委員会を立ち上げた後、翌年2月まで計4回の会議を行う中で、2月～3月に実施した聞き取り調査の方向性・質問項目を検討した。この聞き取り調査は、新たなサービスを必要とする方がどれくらいいるかを把握するため、サービスの主な対象になると想定した世帯に行ったもので、全体の回答率は83%、内訳として高齢者を中心とする一般世帯は219世帯中188世帯から、保護者世帯は45世帯中31世帯から回答していただいた。

この聞き取り調査の結果をふまえ、サービスの方向性などを検討するところであったが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、しばらく会議が開催できず、その後、落ち着いてきた頃に役員会や人数を縮小しての委員会、7月には密にならないよう分散してのグループワークを実施した。

さらには、交通事業者との意見交換や検討委員会も行いながら、今までに計8回の委員会を開催し、検討の方向性を全体で確認している。以上がこれまでの検討状況。

次に、2の今後の検討事項と方向性について。検討委員会では、現時点で5つの方向性を出しており、1点目は、あつたライフサポートの会との連携で、早い段階から連携できないかを模索していたが、会の高齢化もあり中々進まなかった。しかし若いメンバーが何名か入会されたということで、あらためて会との連携を協議していこうとの運びになっている。

2点目は、トーマン・厚田間のテスト運行に向けた交通事業者との協議。虹が原からはバスの本数が多いため、比較的便利な地域と言え、厚田から虹が原までの移動について、テスト運行が出来ないかを中央バスに打診し、今のところ、概ね了承をいただいている状況。

3点目は、聞き取り調査をふまえた具体的サービスの在り方の検討。地域ごとに状況や困りごとが違うので、詳細なニーズを検証していくことと合わせ、それに対応出来そうな全国の事例も継続して集め、サービスの選択肢を拡げたいと考えている。

4点目は、現有する車両資源活用の模索。公共交通機関の他にも、スクールバスや福祉バス、社会福祉法人の車両など、厚田区内を走っている車両がたくさんあるので、それらを有効に活用出来ないか検討していく。

5点目は、集落支援員制度を活用する仕組検討。集落支援員については、令和4年度の導入を目指しており、交通・移動サービス面での連携を検討していく。

検討委員会では、これらの方向性を基にして、令和3年度の協議を進めていく。私からは、以上です。

市からの情報提供について

【（厚）市民福祉課 吉田課長】

私の方から、今後の新型コロナウイルス感染症ワクチンの接種スケジュールについて説明する。まず65歳以上の内80歳以上の方々に先行して、4月26日から接種に必要なクーポンの送付を予定している。次に65歳以上の方々はワクチンの供給状況に応じて順次発送し、65歳未満の方には準備が整い次第案内する予定となっている。次に石狩市が開設する集団接種会場として厚田保健センター、りんくる、南コミセンの3カ所、後は市内の各医療機関、その他浜益区の国保診療所となっている。接種の予約については、クーポンが届いたら4月19日開設のコロナワクチンのコールセンターに直接電話いただくか、又はオンラインでの予約が24時間対応となっているので、こちらでお願いすることになる。

【（厚）地域振興課 佐藤主査】

私の方から何点か報告させていただく。

① 厚田区内の保育園と厚田学園の児童生徒数について

～厚田保育園については13名、聚富保育園は3名で計16名。厚田学園については1年生から9年生の全校生徒33名。

② 新過疎法制定に係る新たな過疎計画の策定予定について

～今年、新たな過疎対策法が制定されたことに伴い、新しい過疎計画を策定することとなった。計画案の検討にあたっては当地域協議会からも意見を伺うことになるのであらかじめお知らせする。この8期の地域協議会委員の中で、諮問と答申を行う。詳細は来月以降の協議会で説明する。

③ 道の駅の令和3年度の入館者数他について

～2月の地域協議会で最終362,000人を予測したが、途中集計に誤りがあり、335,801人が3月末の最終的な公式数字。

④ 道の駅で八田美津さんの人形展開始～4/23～5/30 「八田美津創作人形展ふるさとの風を運ぶ春」チラシ参照

⑤ 沿岸バスの運休について～4月26日から当面の間運休。再開は未定。

⑥ 国道231号の通行止めについて

～現在、北海道開発局で片側交通出来るよう復旧に取り組んでいる。開通は未定。

⑦ 厚田総合センター2階ホールの使用制限について

～厚田アクアレール水彩画展の会場になるため、7月1日から8月10日まで使用できない。葬儀等の会場使用が出来ないので、その旨ご了解いただきたい。回覧は7月末まで毎月出して区民に周知する。

⑧ アツタアドベンチャーについて

～3月末で地域おこし協力隊を卒業した江崎隊員が3年間の活動の集大成として制作。厚田の動植物をまとめた厚田図鑑。200部製作し区内施設や飲食店、市内の学校や図書館などに配布。

【地域おこし協力隊 飯塚隊員】

毎月1回発行していたアツタツアーを全部まとめて1冊の総集編にした。これまでアツタツアーで取材した店舗や農家さんや漁師さんの取材したときの写真、道の駅のお土産品など改めて写真などの掲載している。アツタツアーを初めて手にした人にもわかるように冊子の紹介やこれからの展開なども記載した。今まで毎月1,000部発行していたが、総集編は2,000部を発行し、より多くの人に手に取ってもらえるようにした。

【築田会長】

飯塚隊員のアツタツアー、ボリュームがあって見応えがある良い冊子になっていると思う。

江崎さんがまとめた本も、厚田に住んでいながら知らなかったことがたくさん書かれており、新しい発見がたくさんあった。本当にありがとうという思い。以上、たくさんの方の情報提供をいただいたが、皆さんから何か質問はないか。

【 小山委員 】

先ほど厚田区内の保育園、厚田学園の人数の情報提供があったが、聚富保育園の人数については5歳児が3名ということだが、今後聚富の保育園をどうしていくか、さらに来年度3歳児がいた場合、保育園を継続するのか、これから保護者と役所で話し合いがもたれていくのか等、気になったのでお伺いしたい。

【 築田会長 】

聚富保育園の人数の少なさ、それに伴う今後の施設の在り方に対する質問だが、この件については事務局でどなたか答えることは出来るか。

【 (厚) 東支所長 】

この件につきましては、事務局として詳細な情報が入っておりませんので、後日何らかの形でお伝えしたいと思います。申し訳ございません。

【 築田会長 】

他に何かないか。なければ事務局から、その他として何かないか。

【 (厚) 地域振興課 高田課長 】

事務局からはありません。

6. その他

【 (厚) 地域振興課 高田課長 】

次回の日程については、5月26日(水)18時00分から、厚田総合センター2階ホールで提案させていただく。

7. 閉会

【 築田会長 】

本日はこれで終了する。委員の皆さんお疲れ様でした。

○次回の日程について

令和3年5月26日(水)18時00分～ 厚田総合センター2階ホール

令和3年5月27日 議事録確定

石狩市厚田区地域協議会

会長

築田 敏彦